

A - 22 次の記述は、超短波(VHF)帯及び極超短波(UHF)帯における電波の伝わり方について述べたものである。このうち誤っているものを下の番号から選べ。ただし、大気は標準大気とする。

- 1 大気の屈折率は、地上からの高さとともに小さくなる。○

2 大気中を水平に発射された電波は、地球の半径の4倍の半径をもって地表と反対の方へ曲がりながら伝搬する。×

3 送受信点間の電波の通路を直線で表すために仮想した地球の半径を、等価地球半径という。○

4 等価地球半径は、真の地球半径を $4/3$ 倍したものである。○

5 電波の見通し距離は、幾何学的な見通し距離よりもいくぶん長い。○

